

指定管理評価表(中央北生涯学習プラザ)

令和2年3月31日現在

施設概要	尼崎市立中央北生涯学習プラザ(尼崎市東難波町2丁目14番1号) 開館時間:平日、土9:00~21:00 日9:00~17:00 (休館日:祝日、年末年始(12月29日~1月3日)) 施設設置目的:教育基本法(平成18年法律第120号)第12条第1項の規定により奨励されるべき社会において行われる教育その他の生涯学習の拠点及び自治のまちづくりを支える拠点の提供 事業内容:中央北生涯学習プラザの使用に関すること及び施設の維持管理			
指定管理者の名称	尼崎市生涯学習プラザ運営事業体(代表団体:株式会社 ハウスビルシステム)			
指定期間	平成31年4月1日~令和6年3月31日			
業務概要	中央北生涯学習プラザの管理業務①使用の許可、取消し等施設の使用に関すること②使用料の徴収、減免及び還付③施設及び供用備品の維持管理④施設及び備品にかかる1件50万円未満の補修工事及び修繕⑤利用状況等統計、その他)			
利用状況等	項目名	令和元年度	平成30年度(旧中央公民館実績)	平成29年度(旧中央公民館実績)
	貸室利用者数	94,389 人	69,398 人	70,890 人
	貸室稼働率	42.14 %	33.99 %	34.13 %
	自主事業開催数	0 回	-	-
	自主事業参加者数	0 人	-	-
所管課・所管課長名	総合政策局中央地域振興センター中央地域課・北 明徳			
評価対象期間	平成31年4月1日~令和2年3月31日			

評価項目	説明	評価	評価コメント
1 サービスの質の維持・向上		B	自主事業は実施していないが、施設利用者への積極的なあいさつや丁寧な説明を行うなど利用者が気持ちよく利用できる環境づくりを行っている。また、利用者向けアンケート結果においても職員の対応について高い評価を得ている。施設利用者は増加傾向にあるものの、施設利用率の目標設定(45%)をしていることから、目標達成に向けての取組が課題である。
自主事業・指定事業	計画に沿って、積極的に自主事業・指定事業に取り組んでいるか		
サービス向上	サービス向上の取組みがされているか		
施設利用者数	施設利用者の掘り起こしがされているか		
利用者要望の把握	利用者要望の把握がされているか		
事業計画性、透明性	事業が計画的に、かつ透明性を確保して実施されているか		
住民・利用者の参画	住民または利用者とのパートナーシップを推進しているか		
2 適正な施設の管理		A	事故時等緊急時の対応マニュアルの整備や定期的な訓練・研修を行っている。日常の施設管理を行う上で、チェックリストによる確認や毎朝の清掃を兼ねた点検を行っており、施設利用者が安全で快適に利用できる環境づくりに取り組んでいる。また、修繕の必要性が生じた場合も早急に対応している。
施設保守・管理	施設の保守、管理が適正に実施されているか		
職員体制	合理的な配置か、責任体制が整った配置か		
危機管理	事故・緊急時の体制が十分に整備されているか		
個人情報管理	個人情報の管理が適正であるか		
職員研修	職員研修が十分に実施されているか		
3 収支・経費節減		A	収支状況は良好であった。適正な人員配置や光熱水費の削減目標など引き続き、経費節減の取組を行っていただきたい。
収支状況	収支の状況が適正かつ良好であるか		
経費節減の取組	経費節減の取組みがされているか、		
4 指定管理者の経営状況等		A	適正な会計処理が行われており、経営状況も良好である。
会計状況	適正な会計手続きがなされているか(監査報告書等による)		
経営状況	経営状況は良好か(貸借対照表、損益計算書等による)		
5 その他		A	文書等は適正に管理している。また点検項目を定めたセルフモニタリングシートにより内部評価をおこなっており、概ね良好である。
文書等の管理	文書類、帳簿、備品、資料等が適切に管理されているか		
評価の実施	内部評価を実施しているか		

指定管理者選定に係る事業計画書の主な取組内容	左記に関する取組状況とその取組に対する評価
<ul style="list-style-type: none"> 施設管理運営業務 経費縮減の取組 利用者ニーズの把握や新規利用者の掘り起こし 中央地域振興センターとの連携 	施設利用者が安全で安心して利用できるよう開館時間中の点検や始業・終業点検報告書による確認を行うなどの取組により適正に行われている。また、経費縮減の取組も行われており、指定管理料の範囲内で管理できているが、次年度に向けては今年度の実績に基づき分析を行い更なる経費縮減の取組が必要である。利用者ニーズの把握を行うため利用者向けアンケートを実施し、接客対応や要望などを聞き取った。新規利用者の掘り起こしについては、HPをはじめ積極的に周知を行った結果、前年度に比べ、利用者数・利用率においても増加傾向と効果が出ている。また、中央地域振興センターが行う事業においても連携が図られておりパートナーとしての実績を上げている。

総合評価	総合評価の理由、今後の課題等
B	新築施設ということもあり、施設利用者には利用者向けアンケートにおいても、概ね快適に利用されている。施設利用率や施設利用者数も旧中央公民館と比較し増加傾向にあり、利用者へのサービスの向上や新規利用者への掘り起こしの取組が効果として表れている。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響により468件の利用キャンセルがあり施設利用率の目標設定(45%)を達成するまでに至らなかった。また、アンケートにおいて施設利用者から要望もあることから、分析や要望実現に向けた検討を要する。また、職員についても施設の設備等について十分に理解できていない面もあることから、職員研修の充実に向けた取り組みも必要であり、次年度においては、ワンランク上の管理運営を目指していただきたい。

- ※ 評価は、A~Eの5段階評価とする。
 ※ 確認調査の結果をチェックリスト等に記入する。更に1~5の大項目ごとに評価を行った後、総合評価を行うこと。
 ※ A:非常に良好である又は非常に成果があった。 B:やや良好である又はやや成果があった。 C:取組状況の水準が普通である。
 D:やや改善の余地があった。 E:多くの改善すべき点が見受けられる。